

2018（平成30）年度
法人・事業所 事業報告書

社会福祉法人 八千代市身体障害者福祉会

2019（令和元）年5月

目次

目次

I. はじめに	1
II. 法人の理念	2
III. 本会事業の目的	3
IV. 法人本部の本年度事業報告	4
1. 概要	
2. 事業内容	
3. 事業実績	
4. 人事管理実績	
5. 財務管理実績	
V. 地域生活支援事業及び相談支援事業の本年度事業報告	7
1. 概要	
2. 事業内容	
3. 事業実績	
4. 人事管理実績	
5. 人材育成実績	
6. サービス管理実績	
VI. 障害者就労支援事業の本年度事業報告	14
1. 概要	
2. 事業内容	
3. 事業実績	
4. 人事管理実績	
5. サービス管理実績	
6. 利用者の動向	
7. 財務管理実績	
VII. 収益事業の本年度事業報告	22
1. 概要	
2. 事業内容	
3. 財務管理実績	

I. はじめに

今年度をもって障害者就労支援事業に対する補助金が廃止される等今後の本会の事業運営に当たっては財政基盤の安定化と自主財源の確保が喫緊の課題となります。そこで、本年度まずは従来の補助金ありきの運営からの脱却を目指し体質の改善を図ることによって財政的な自立ができるよう事業の見直しや工夫を図るための一年としました。

具体的には、就労支援事業に於いて新たに就労定着支援が創設されることと就労継続支援B型についてはその報酬体系の構造が変わること等から事業展開のあり方について早期に方向性を決定し具体的な成果を実現することとしました。なお、本事業については自主財源の確保なしに事業の継続は見込めないことから、利用者の安定的確保は不可欠であり利用者の入退所の動向を注視し利用者数の増加から発生する様々な課題を職員間にて共有し、併せて利用者支援が損なわれることのないよう課題解決に向けた取り組みを第一義として実施しました。

地域生活支援事業に於いては、主管課により検討が始まっている地域生活拠点事業についてその受託に向けた課題を明らかにした上で行政との擦り合わせを行いその取り組みを加速させると共に障害者福祉と介護福祉の橋渡しとなる地域共生社会への取り組みの方向性を模索することとしました。

相談支援事業に於いては、指定基準の見直しが行われることから現状と比較し担当する人材の確保と身体障害者相談員等他の社会資源との連携等不足するマンパワーの充足策について具体化を図りました。

なお、事業に共通することとしては、H29年度の社会福祉法人制度改革に基づく情報公開のあり方等積み残した課題があることから様々な機会を通じてその解決を図ることとし「福祉は人である。」との認識に立って各々の職種や事業に拘泥することなく積極的に職員間、事業間の連携を図り本会が目指す障害者福祉の実現を図るための年度としました。

以上

2019（R元）年5月

社会福祉法人
八千代市身体障害者福祉会

Ⅱ. 法人の理念

2000（平成12）年に制定した福祉会・はばたき職業センター5つの誓いを法人の理念として取り組みました。

- 福祉会・はばたき職業センター5つの誓い

（支え合いと連帯）

- 私たちは、一人はみんなのためにみんなは一人のために働きます。

（生きがいと可能性の追及）

- 私たちは、どのような環境のもとでもその人らしい生き方を認め可能性を信じその能力を育む努力を続けます。

（心豊かな社会の創造）

- 私たちは、いつでもどこでも誰もが安心して暮らせる地域社会をめざします。

（開拓者としての心得）

- 私たちは、社会の一員として自ら考え、行動し、前向きに生きる開拓者をめざします。

（幸福の追求と社会貢献）

- 私たちは、生命の尊さ、個人の幸せを求めつつ社会に貢献することをめざします。

Ⅲ. 本会事業の目的

社会福祉法に定める第2種社会福祉事業のうち障害者総合支援法に基づく事業及び身体障害者福祉法に基づく事業並びに社会福祉と関係のある公益を目的とする事業を積極的に展開しました。

1. 法人本部

各事業を統括する。

- ・第2種社会福祉事業
- ・公益事業
- ・収益事業

2. 地域生活支援事業（第2種社会福祉事業及び公益事業）

きらめき支援センター

（事業の目的）

身体障害者の自助自立を旨とし、八千代市からの受託事業及び本会自主事業を通じ、身体障害者の社会参加、地域福祉の向上を図る。

（事業内容）

- ・受託事業
- ・給付費事業
- ・自主事業

3. 相談支援事業（第2種社会福祉事業）

相談支援事業所 きらめき支援センター

（事業の目的）

サービス等利用計画についての相談及び作成等の支援が必要な場合、障害者（児）の自立した生活を支え、障害者（児）の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けた支援を行う。

（事業の内容）

- ・特定相談支援事業
- ・障害児相談支援事業

4. 障害者就労支援事業（第2種社会福祉事業）

障害福祉サービス事業所 はばたき職業センター

（事業の目的）

利用者が自立した生活及びノーマライゼーションを推進するため職業を通して障害者の社会参加と働く権利の向上を目指し、利用者個々の必要とするサービスの提供を行う。

（事業の内容）

- ・就労継続支援B型事業
- ・就労移行支援事業
- ・就労定着支援事業（新規）

5. 収益事業

（事業目的）

本会地域生活支援事業及び障害者就労支援事業を安定的かつ効果的に行うために、自主的にその財政基盤の強化を図る。

（事業の内容）

- ・自動販売機設置事業
- ・駐車場管理事業
- ・売店運営事業

IV. 法人本部の本年度事業報告

1. 概要

社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り地域福祉の推進に努めました。

2. 事業内容

種 別	事 業	内 容
第2種社会福祉事業	・ 障害福祉サービス事業の経営	・ 障害福祉サービス事業所 はばたき職業センター
	・ 移動支援事業 ・ 手話通訳事業	・ 視覚障害者移動支援、同行援護事業 ・ 手話通訳設置事業 ・ 手話通訳者等派遣事業
	・ 相談支援事業	・ 特定相談支援事業 ・ 障害児相談支援事業
公益事業	・ 車椅子貸し出し事業	・ 車椅子貸し出し事業
	・ リフト付バス運行事業	・ リフト付バス運行事業
	・ 身体障害者スポーツ大会等スポーツの振興及び身体障害者の地域交流事業	・ 千葉県障害者スポーツ大会 ・ 八千代市身体障害者スポーツ大会 ・ 輝く未来会（在宅重度障害者の交流活動会）
	・ 市民向け各種講座の開催事業	・ 手話奉仕員養成講座等市民向け講座の開催
収益事業	・ 市民会館内売店運営 ・ 自動販売機設置事業 ・ 駐車場管理事業	

3. 事業実績

(1) 会議の開催

会議名	実施日	内 容
第1回理事会	平成30年6月1日	決議事項 1. H29年度補正予算（案）について 2. H29年度事業報告（案）について 3. H29年度決算（案）について 4. 監事監査報告について 5. 評議員会の招集について 6. 給与規程の改正（案）について 報告事項 1. 理事長の職務の執行状況について (1) 下半期事業報告について (2) 下半期決算報告について (3) 内部監査の状況について (4) 社会福祉充実残額について

会議名	実施日	内 容
第2回理事会	平成30年12月18日	<p>決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. H30年度補正予算（案）について 2. 経理規程の改正（案）について 3. 給与規程の改正（案）について 4. はばたき職業センター運営規程の改正（案）について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理事長の職務の執行状況について <ol style="list-style-type: none"> (1) 理事長の専決について (2) 上半期事業報告について (3) 上半期決算報告について (4) 上半期内部監査の状況について 2. 農福連携について 3. (仮)手話言語条例について
第3回理事会	平成31年3月25日	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理事長の職務の執行状況について <ol style="list-style-type: none"> (1) 理事長の専決について 2. H30年度 社会福祉法人に対する指導監査の結果について <p>決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定款の変更について 2. 評議員会の招集について 3. 評議員選任・解任委員の選任について 4. 評議員選任候補者の推薦について 5. H30年度補正予算（案）について 6. H31年度事業計画（案）について 7. H31年度収支予算（案）について

会議名	実施日	内 容
定時評議員会	平成30年6月18日	<p>決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. H29年度決算（案）について 2. 監事監査報告について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. H29年度事業報告について 2. H29年度社会福祉法人に対する指導監査の結果について 3. 社会福祉充実残額について 4. 就労定着支援事業運営規程について

会議名	実施日	内 容
事業間連絡会議	毎月	<ul style="list-style-type: none"> ・事業間の連携 ・各事業の進捗状況の確認 ・各事業の課題の共有 ・会議内容等の確認 ・その他

(2) 研修

研修名	実施日	内 容
職員全体研修	平成30年5月2日	・短期目標シートの作成

(3) 監査の実施

監査名	実施日	内 容
法人指導監査	平成30年12月5日	八千代市による法人指導監査
監事監査	平成30年5月17日	法人監事による会計及び事業監査
内部監査	平成30年4月20日 平成30年7月20日 平成30年10月19日 平成31年1月21日	内部監査員による会計監査

(4) 他団体との連携

会議名	実施日	内 容
八千代福祉ネットワーク 会議	全2回	・「友生フェスタ」の検討 ・その他

4. 人事管理実績

資格名	内 容
社会福祉士	2人
介護福祉士	2人
精神保健福祉士	0人
手話通訳士	1人
社会福祉主事	11人
訪問介護員2級	1人
サービス管理責任者	5人
相談支援専門員	7人
社会福祉士実習指導者	1人

5. 財務管理実績

(1) 賛助会員

摘 要	内 容
年度初	123件
新 規	6件
辞 退	10件
年度末	119件

V. 地域生活支援事業及び相談支援事業の本年度事業報告

1. 概要

(1) 地域生活支援事業

今年度、障害福祉サービスについての報酬改定が行われ、同行援護事業については従来の支給方法が一本化され報酬単価に反映されました。サービス内容についても重視されるようになったことから、今後、利用者の状況把握に努め個々のサービスについて他の事業所のない質の良いサービスを提供できるようにすることで利用者の確保・信頼性へとつなげていきたいと思っております。また、ガイドヘルパーの賃金についても見直しを行いやりがいのあるサービスとして任に就いて頂くこととしました。

地域生活支援事業として様々な事業を展開してきましたが、参加者の内訳を見ると高齢化・重度化が進んでおり、従来の事業をやりこなすことが様々な面で難しくなっているのが現状です。催事に関しては当事者が催事企画委員となり、障害者が外出するきっかけ作りになるように企画していますが、参加者の送迎・ボランティアの協力が必須となっているのが現状です。市内の障害者に対して福祉サービスを行っていく上で、地域とのつながりを大切に相互理解を深める事業・コミュニケーションを図る事業へと展開して行かなければならず、今後は参加者の現状を把握しながら事業を見直し内容を検討していきたいと思っております。

なお、福祉有償運送事業については、リフト車両購入後14年が経過し、かなり老朽化が進んでおり諸々へ助成申請を行いました但し助成には至りませんでした。引き続き申請を行うことと自己資金拠出も検討して行かなければならないと思っております。

(2) 相談支援事業

手話通訳事業において聴覚障害者からの個別依頼の他、講座対応や各種関係団体等からの依頼も増加し「手話及び要約筆記」の啓発等については一定の効果がありましたが、本年度は派遣通訳者の増員がなく現状の体制で実施して行かざるを得ませんでした。設置対応を含めて依頼件数が過剰な状況にあり、現登録者の技術向上や設置業務の精査等と併せて現状把握に努めながら課題を解決していく必要があります。また、次年度制定が予定されている(仮称)手話言語条例についても社会福祉法人としての役割を認識し積極的に啓発に努めていきたいと思っております。

特定相談支援事業においては事業所として一定の周知がなされ、行政からの依頼を中心に少数ですが障害当事者やご家族、事業所等からの依頼対応にも努めてきました。障害種別を問わず、また困難事例等にも対応出来るよう知識と経験を増やしていく必要があり、更には地域とのつながりや障害当事者が社会参加できる活動について対象者が固定しつつあることからその拡大や啓発、活動内容、地域支援者への協力等改めて検討し地域に根差した活動を心がけ業務に当たっていききたいと思っております。

2. 事業内容

種 別	事 業
・受託事業	(1) 八千代市手話通訳設置事業 (2) 八千代市手話通訳者等派遣事業 (3) 千葉県障害者スポーツ大会 (4) 八千代市身体障害者スポーツ大会 (5) 手話奉仕員養成講座(入門・後期) (6) 視覚障害者サポート講座 (7) 車椅子等貸出事業 (8) 身体障害者の更生相談に應ずる事業

種 別	事 業
・給付費事業	(1) 指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業 (2) 視覚障害者移動支援・同行援護事業
・自主事業	(1) 基本相談事業 (2) 福祉車両運行事業 (3) ミニ日帰り旅行 (4) 日帰り旅行 (5) 身体障害者一泊親睦旅行 (6) とっておきの福祉まつり (7) とっておきの作品展 (8) 新年顔合わせ (9) 書道講座 (10) ボランティア講習 (11) 初級手話講習「手話にふれよう」 (12) とっておきのミニ講座 (13) 地区懇談会 (14) 笑顔のつどい (15) 輝く未来会 (16) 機関紙「はばたき」の発行

3. 事業実績

(1) 会議の開催

会議名	実施日	内 容
相談支援・地域生活支援 事業会議	毎月	・職員間の連携 ・実施予定事業の周知 ・各事業の現況確認 ・その他
サービス等利用計画作成 会議・モニタリング会議	全50回	・サービス等利用計画の作成 ・モニタリングの実施 ・利用者の現況確認 ・その他
機関紙「はばたき」編集 企画会議	毎月	・機関紙の編集企画 ・その他
派遣通訳者会議	毎月	・手話通訳者派遣件数報告 ・事例検討 ・その他
ガイドヘルパー会議	全2回	・事業利用状況の確認 ・ヒヤリハット ・その他
福祉車両運行事業会議	全1回	・安全運転管理者講習の報告 ・安全確保の徹底 ・その他
催事企画委員会	毎月	・既存催事や講座の検討 ・その他
八千代市身体障害者スポ ーツ大会実行委員会	全10回	・実行委員会形式による企画・準備運営 ・その他

(2) 外部研修への参加

研修名	実施日	内 容
千葉県専任設置手話通訳者会議研修会	平成30年10月3日	(社福)千葉聴覚障害者協会 事例報告等
関東ろうあ者相談員連絡会研修	平成30年9月21日	関東ろうあ相談員連絡会 意思決定支援について
千葉県選任設置手話通訳者会議研修会	平成31年3月6日	(社福)千葉聴覚障害者協会 ろう重複障害に関するコミュニケーション支援について
自治体手話関係職員連絡研修会	平成30年7月13日	手話言語条例と障害者差別解消法でみる手話通訳業務のあり方について
関東ろうあ者相談員連絡会研修会	平成31年3月8日	関東ろうあ相談員連絡会 聴覚障害者の余暇活動について

4. 人事管理実績

摘 要	内 容
年度初	1名
採 用	0名
退 職	0名
年度末	0名
内 訳	事務局長 1名

○地域生活支援事業

摘 要	内 容
年度初	3名
採 用	0名
退 職	0名
年度末	3名
内 訳	課 長 1名 主 査 1名 サービス提供責任者 1名 (常勤換算0.4)

○相談支援事業

摘 要	内 容
年度初	4名
採 用	0名
退 職	0名
年度末	4名
内 訳	相談支援専門員 2名 (常勤2) 聴覚障害者相談員 1名 専任手話通訳者 1名

5. 人材育成実績

(1) 手話通訳者等派遣事業

摘 要	内 容
年度初	19名
新規登録	0名
登録辞退	要約筆記者 1名
年度末	18名
内 訳	派遣手話通訳者等

(2) 同行援護支援事業

摘 要	内 容
年度初	20名
新規登録	2名
登録辞退	2名
年度末	20名
内 訳	ガイドヘルパー

(3) 福祉車両運行事業

摘 要	内 容
年度初	5名
新規登録	2名
登録辞退	0名
年度末	7名
内 訳	運転手

6. サービス管理実績

○受託事業

(1) 手話通訳設置事業

摘 要	内 容
相 談	598件
内 訳	手話通訳 528件 要約筆記者 70件
専任業務	394件
内 訳	手話通訳 382件 要約筆記者 12件
通訳業務	968件
内 訳	手話通訳 879件 要約筆記者 89件

(2) 手話通訳者等派遣事業

摘 要	内 容
派 遣	852件
内 訳	手話通訳 664件 要約筆記者 188件

(3) 催事の開催

催事名	実施日	内 容
県障害者スポーツ大会	平成30年5月19日 ～4週間	選手17名 総勢43名
八千代市身体障害者 スポーツ大会	平成30年9月29日	総勢404名

(4) 講座の開催

催事名	実施日	内 容
手話奉仕員養成講座 (入門課程・前期)	全27回	継続受講 25名
視覚障害者サポート講座	全6回	受講者 10名
ガイドヘルパーフォロー アップ講座	1回	参加者 11名

(5) 車椅子等貸出事業

摘 要	内 容
貸 出	66件

○給付費事業

(1) 特定相談支援事業及び障害児相談支援事業

摘 要	内 容
サービス等利用計画(案) の作成	障害者 115件 障害児 17件
モニタリング計画	障害者 161件 障害児 19件

摘 要	内 容
年度初	82名
新規契約	22名
内 訳	身体障害者 8名 知的障害者 3名 精神障害者 1名 重複障害者 5名 難病 0名 障害児 5名
契約解除	6名
解除理由	就職 2名 転居 0名 介護保険移行 0名 その他 4名
年度末	98名
内 訳	身体障害者 57名 知的障害者 4名 精神障害者 4名 重複障害 18名 難病 2名 障害児 13名

(2) 同行援護支援事業

摘 要	内 容
年度初	35名
新規利用	2名
利用辞退	2名
年度末	35名

摘 要	内 容
派 遣	2,310件
のべ利用者	357名
派遣時間	8,319時間

○自主事業

(1) 基本相談支援事業

摘 要	内 容
生活に関わる相談	9件
介護に関わる相談	5件
制度・手続きに関わる相談	2件
労働に関わる相談	9件
その他	52件

(2) 福祉車輛運行事業

摘 要	内 容
年度初	17名
新規利用	3名
利用辞退	0名
年度末	20名

摘 要	内 容
稼 働	99件
回 数	116回
のべ利用者	155人
タクシー券利用	95件

(3) 催事の開催

催事名	実施日	内 容
一泊親睦旅行	平成30年9月19日 ～9月20日	那須りんどう湖レイクビュー 54名
ミニ日帰り旅行	平成30年11月16日	海ほたる 道の駅うまくたの里 15名
とっておきの福祉まつり	平成30年11月10日	フルルガーデン八千代 330名
とっておきの作品展	平成30年12月3日 ～12月7日	市福祉センター 53点出品
新年顔合わせ	平成31年1月17日	市障害者福祉センター 40名
続とっておきの作品展	平成31年1月17日 ～1月23日	八千代市民ギャラリー 58点出品
日帰り旅行	平成31年3月1日	館山イチゴ狩りセンター 49名

(4) 講座の開催

催事名	実施日	内 容
初級手話講座・手話にふれよう	全12回	10名受講
書道講座	毎月	全12回 16名
とっておきのミニ講座	平成30年10月22日	「災害時のケガの応急処置」42名

(5) 懇談会の開催

懇談会名	実施日	内 容
米本団地懇談会	全6回	
村上団地懇談会	全3回	
高津地区懇談会	全5回	
米本団地障害者サポーターの会	全4回	情報交換他
八千代さくら会	全2回	内部障害者、オストミー懇談会

(6) 交流活動

催事名	開催日	内 容
笑顔のつどい	毎月	・身障相談日に合わせて開催 ・障害者間の情報交換、交流活動
輝く未来会	月2回	・在宅重度障害者の交流活動
ボランティア交流会	平成30年7月12日	12名

(7) 情報の提供

名 称	実施日	内 容
機関紙「はばたき」発行	毎月16日	発行部数 16,661部 (月発行部数 1,388部) 配布部数 290部 (市内支所・公民館等 35か所)

VI. 障害者就労支援事業の本年度事業報告

1. 概要

今年度「重要課題」となっていた利用者増員について一定の成果がみられましたが、その一方で契約解除した利用者も複数いて、今後しばらくは出入りの多い状況が続くことが予想されます。

当施設を安心して継続的に利用して頂くためのポイントのひとつに「ご家族」の存在は外せません。ご家族に対して施設の魅力をいかに伝えていくかが大切になってくることから施設の魅力を改めて明確にした上で利用者・家族に対して積極的な支援を展開することにより、安定的な利用者確保に結びつけていきたいと思ひます。また、利用者の確保に伴い課題となる作業工賃額の維持向上や建物（作業スペース）の確保も継続的に検討していききたいと思ひます。

就労移行支援においては、就職者が2名あったため終盤は利用者1名となりました。単年度でみれば今後もそのような年度が出てくる可能性はありますが、なるべく利用率を意識して就労継続支援B型からの事業変更や就職を希望する新規利用者の獲得を積極的に展開していかなければなりません。また、今年度より開始した「就労定着支援事業」の積極的展開と併せて「障害者の一般就労」についても引き続き注力していききたいと思ひます。

2. 事業内容

事業	内容	定員
就労継続支援B型	(1) 就労継続支援B型計画の作成 (2) 食事の提供 (3) 身体等の介護 (4) 就労に必要な知識、能力を向上させるために必要な訓練 (5) 就労の機会の提供及び生産活動 (6) 実習先企業等の紹介 (7) 求職活動支援 (8) 職場定着支援 (9) 生活相談 (10) 健康管理 (11) 訪問支援 (12) 施設外支援 (13) 施設外就労 (14) 前各号に掲げる便宜に附帯する便宜 (15) (2) から (13) に附帯するその他必要な介護・訓練・支援・相談・助言	30名
就労移行支援	(1) 就労移行支援計画の作成 (2) 食事の提供 (3) 就労に必要な知識、能力を向上させるために必要な訓練 (4) 身体等の介護 (5) 生産活動 (6) 実習先企業等の紹介 (7) 求職活動支援 (8) 職場定着支援 (9) 生活相談 (10) 健康管理	6名

事業	内容	定員
	(11) 訪問支援 (12) 施設外支援 (13) 施設外就労 (14) 前各号に掲げる便宜に附帯する便宜 (15) (2) から (13) に附帯するその他必要な 介護・訓練・支援・相談・助言	
就労定着支援	通常の事業所に新たに雇用された障害者に対して、当該通常の事業所での就労の継続を図るために必要な当該通常の事業所の事業主、障害福祉サービス事業者等、医療機関その他の者との連絡調整その他の支援を適切かつ効果的に行う。	—

3. 事業実績

(1) 会議の開催

会議名	実施日	内容
障害者就労支援事業会議	毎月	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の連携 ・サービス内容の確認 ・工賃向上計画の作成 ・利用者や待機者の動向把握 ・各科の現況確認 ・その他
個別支援計画会議	平成30年5月29日 平成30年5月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所利用目的の確認 ・総合的支援の方針の確認 ・目標到達度の確認 ・その他
モニタリング会議	平成30年12月3日 平成30年12月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の修正、見直し ・利用者の現況確認 ・その他
評定委員会	毎月	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の作業評価 ・利用者の現況確認 ・当該月の収支報告 ・作業工賃支払額の決定 ・その他
ケース診断会議	全11回	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用契約ケースの報告 ・利用契約解除ケースの報告 ・問題を抱えたケースの経過報告 ・実習受入ケースの報告 ・その他
製造会議	毎月	<ul style="list-style-type: none"> ・前月の各科作業状況の報告、反省 ・当月、次月の作業の受注状況の報告 ・当該月の収支報告 ・その他
施設給食会議	毎月	<ul style="list-style-type: none"> ・次月度献立確認 ・嗜好確認 ・その他

会議名	実施日	内 容
防火安全衛生推進委員会	全4回	<ul style="list-style-type: none"> 施設内危険個所の点検 防火安全衛生パトロールの実施報告 防火安全衛生研修の実施 その他

(2) 苦情解決

催事名	実施日	内 容
第三者委員相談日	毎月	<ul style="list-style-type: none"> 苦情受付 苦情解決 苦情案件の公開 再発防止

(3) 外部研修への参加

会議名	開催日	内 容
関東社会就労センター協議会研究大会東京大会	平成30年6月28日 ～6月29日	就労支援施設研修
関東社会就労センター協議会研修	平成30年8月28日	就労支援施設研修
社会福祉施設における食中毒・感染症対策研修会	平成30年9月12日	衛生管理研修
工賃向上計画作成に於ける会計研修	平成31年2月18日	就労支援施設会計研修
県障害福祉課サービス事業者集団指導	平成31年3月20日	報酬改定等説明会

4. 人事管理実績

摘 要	内 容
年度初	1名
採 用	0名
退 職	0名
年度末	0名
内 訳	施設長・サビ管 1名 (常勤1)

○就労継続支援B型

摘 要	内 容
年度初	5名
採 用	職業指導員 2名
退 職	0名
年度末	7名
内 訳	職業指導員 5名 (常勤2・常勤換算1.2) 生活支援員 1名 目標工賃達成指導員 1名

○就労移行支援

摘 要	内 容
年度初	3名
採 用	0名
退 職	0名
年度末	3名
内 訳	就労支援員 1名 (常勤1) 職業指導員 1名 (常勤1) 生活支援員 1名 (常勤換算0.2)

○就労定着支援

摘 要	内 容
年度初	1名
採 用	0名
退 職	0名
年度末	1名
内 訳	就労定着支援員 1名 (常勤換算0.2)

5. サービス管理実績

(1) 生産活動の提供

①版下科・印刷科

印刷業界全体の売り上げが低迷しているなか、引き続き発注してくださる顧客を大切にしながら良品製造やきめ細かい対応を心がけて事業を展開した結果、昨年と比較すると売上・利益とも増加しました。年度後半には営業職員を中心に新規顧客開拓に注力してチラシの作成・配布を行いました。なるべく外注加工を必要としない自主生産のできる「軽印刷物」に的を絞って営業を展開することにより、収益性の高い物件の安定的な確保を目指していきたいと思います。また、機械設備の老朽化も進んでいるため適切な時期をみて少しでも多くの利用者が携われる設備を計画的に導入していく必要がありますデジタル化（オンデマンド印刷）についても引き続きの検討課題としています。

②受注生産科

引き続き、取引先と調整しながら安定的な作業提供に努め、内容によっては他科との協力を図りながら売上向上を目指しました。パート職業指導員もかなり慣れてきて作業においては任せられる部分も増えてきていますが、所属する利用者数の増加は担当職業指導員の事務作業を圧迫することになっていて課題となっています。車イスの利用者も多く、作業スペース・避難路の確保等も通年の課題となっていますが、今後も受注生産科を希望する利用者は増加傾向にあるため施設の利用目的を明確に把握して支援を展開していく必要があります。また、既存路線にこだわらずに斬新なアイデアを実行・展開することによって、所属する利用者が今まで以上に施設への魅力を感じて頂けるよう工夫してきたいと思います。

③園芸科

定期的な販売活動に加え各種イベントへの積極的な参加を行い作業支援を行いました。草花・野菜等年間の生産計画を立てて、生産したものはなるべく売り切るように意識して取り組んだ結果、経費率を抑えることができ利益につながりました。定着した福祉センター前の直売も利用者にある程度一任することが出来ています。地域販売活動では、引き続き「イオン緑が丘店」「ユアエルム八千代台店」等に協力して頂き、販売の機会を増やすことが出来ました。園芸科の利用

人数は過去数年をみても平均的に多く、今後も希望者が増えることが予想されます。年度後半にパート職業指導員を1名園芸科に配属して支援の充実を図りましたが、引き続き、草花や野菜の育成・販売、植え込み作業の他に「除草作業」「会社や個人宅の庭の手入れ」等にも力を入れ作業販路を拡大していくことにより利用者の作業確保・売上げ向上を目指していくことが可能かどうか今後検証していきたく思います。

(2) 第三者委員への申し入れ

摘要	内容
相談申出	42件
苦情申出	0件

(3) 施設見学者の受入れ

摘要	内容
見学者	93名

(4) 健康管理の実施

催事名	実施日	内容
利用者健康診断	平成30年6月26日 平成30年11月20日	嘱託医による健康診断
利用者歯科衛生相談	平成30年8月7日	市健康管理課歯科衛生士による衛生相談
利用者胸部X線撮影 同上(車イス常用)	平成30年11月14日 平成31年3月29日	新東京病院検診車での検査 新八千代病院での検査

(5) 実習の受入れ

実習名	実施日	内容
社会福祉相談援助実習	1か月	社会福祉事業大学 2名
施設研修	1日	東京成徳大学 21名
職場体験実習	2日	大和田中 6名・萱田中 6名 勝田台中 4名
介護等体験実習	5日	秀明大学 5名
産業現場実習	5日間 5日間	八千代特別支援学校 1名 桜が丘特別支援学校 1名

(6) 防火訓練の実施

催事名	実施日	内容
避難誘導訓練	平成30年7月27日 平成30年11月30日 平成31年2月22日	火災を想定した実地訓練
消火訓練	平成30年11月30日	水消火器による模擬消火訓練

(7) 家族との連携

催事名	実施日	内容
家族連絡会	平成30年10月22日 ～10月31日	個別支援計画の説明 状況把握等

(8) 地域貢献活動の実施

催事名	実施日	内 容
はばたき感謝祭	平成30年5月6日	勝田台駅周辺清掃活動・募金活動

(9) 行事の実施

行事名	実施日	内 容
花見会	平成30年4月3日	
クリスマス・もちつき会	平成30年12月28日	慰労会
収穫祭	平成31年2月23日	家族との交流及び親睦

6. 利用者の動向

○就労継続支援B型

(1) 利用者の動向

摘 要	内 容
年度初	31名
新規契約	6名
移行から継続B型へ変更	1名
継続B型から移行へ変更	1名
契約解除	4名
年度末	33名
のべ利用者数/日	6,962名
開所日数	241日
利用率	96.3%
平均利用者数/日	28.9名

(2) 利用者の内訳

摘 要	内 容	
利用者数	・定 員 30名	・現 員 33名
性 別	・男 30名	・女 3名
居住地	・八千代市 22名 ・佐倉市 1名 ・習志野市 3名 ・船橋市 1名 ・印西市 3名	・四街道市 1名 ・成田市 1名 ・我孫子市 1名
年 齢	・18～19歳 1名 ・20～29歳 4名 ・30～39歳 10名 平均年齢 44.2歳	・50～59歳 5名 ・40～49歳 9名 ・60歳～ 4名
利用年数	・ 0～ 1年 4名 ・ 1～ 5年 13名 ・ 5～10年 9名 ・25～30年 2名 平均年数 6年6か月	・15～20年 3名 ・20～25年 1名 ・10～15年 0名 ・30年～ 1名

摘要	内容			
身体障害者	22名			
等級	・身体障害1級	8名	・身体障害4級	4名
	・身体障害2級	4名	・身体障害5級	3名
	・身体障害3級	2名	・身体障害6級	1名
区分	・四肢障害	0名	・体幹障害	1名
	・上肢障害	1名	・内部・言語障害	2名
	・下肢障害	4名	・四肢・内部障害	1名
	・上下肢障害	11名	・聴覚障害	2名
知的障害者	3名			
等級	・療育A1	0名	・療育B1	3名
	・療育A2	0名	・療育B2	0名
精神障害者	8名			
	・精神障害1級	1名	・精神障害3級	1名
	・精神障害2級	4名	・自立支援医療	2名
所属科	・受注生産科	4名	・印刷科	8名
	・版下科	11名	・園芸科	10名
他法他施策	・生活保護	6名	・介護保険	3名

○就労移行支援

(1) 利用者の動向

摘要	内容
年度初	2名
新規契約	1名
継続B型から移行へ変更	1名
移行から継続B型へ変更	1名
契約解除	2名
年度末	1名
のべ利用者数/日	612名
開所日数	241日
利用率	42.3%
平均利用者数/日	2.6名

(2) 利用者の内訳

摘要	内容			
利用者数	・定員	6名	・現員	1名
性別	・男	1名	・女	0名
居住地	・八千代市	1名	・印西市	0名
	・佐倉市	0名	・四街道市	0名
	・習志野市	0名	・成田市	0名
	・船橋市	0名	・我孫子市	0名
年齢	・18～19歳	0名	・40～49歳	1名
	・20～29歳	0名	・50～59歳	0名
	・30～39歳	0名	・60歳～	0名
	平均年齢	46.0歳		

摘要	内容			
利用年数	・ 0～1年 0名	・ 1～2年 0名	・ 2～3年 1名	
	平均年数 1年10か月			
等級	・ 身体障害1級 0名	・ 身体障害2級 0名	・ 身体障害3級 0名	・ 身体障害4級 0名 ・ 身体障害5級 0名 ・ 身体障害6級 0名
区分	・ 四肢 0名	・ 上肢障害 0名	・ 下肢障害 0名	・ 上下肢障害 0名 ・ 体幹障害 0名 ・ 内部・言語障害 0名 ・ 聴覚障害 0名
知的障害者	0名			
等級	・ 療育A1 0名	・ 療育A2 0名	・ 療育B1 0名	・ 療育B2 0名
精神障害	1名			
等級	・ 精神障害1級 0名	・ 精神障害2級 1名	・ 精神障害3級 0名	・ 自立支援医療 0名
他法他施策	・ 生活保護 0名	・ 介護保険 0名		

(3) 一般就労

摘要	内容
就労移行支援	2名
就労継続支援B型	0名
就労定着支援対象者	3名

7. 財務管理実績

(1) 受注状況

摘要	計
印刷	541件
園芸	215件
受注生産	40件

(2) 授産収支額

摘要	収入	支出	差額
印刷	22,174,883円	15,584,095円	6,590,788円
園芸	7,847,819円	3,298,706円	4,549,113円
受注生産	1,822,056円	236,425円	1,585,631円
その他	64,225円	—	64,225円
預金利息	1,034円	—	1,034円
合計	31,910,017円	19,119,226円	12,790,791円

(3) 作業工賃

摘要	就労継続支援B型	就労移行支援	全体
工賃支払額	15,101,640円	730,076円	15,831,716円
延べ利用者	354名	32名	386名
平均支払額	42,660円	22,815円	41,014円

Ⅶ. 収益事業の本年度事業報告

1. 概要

自己財源の確保を目途としてその収益を社会福祉事業または一定の公益事業に充てるための収益事業を展開しました。自動販売機設置事業に於いては新規に自動販売機設置を1台設置することが出来ました。

2. 事業内容

事業
・市民会館内売店運営 ・自動販売機設置事業 ・駐車場管理事業

3. 財務管理実績

(1) 市民会館売店事業

摘要	内容
開店日	87日
売上収入	2,246,805円

(2) 自動販売機設置事業

摘要	内容
年度初	19台
新規契約	1名
契約解除	0名
年度末	20台
寄付金収入	2,298,848円

(3) 駐車場管理事業

摘要	内容
契約	7台分
駐車料収入	394,640円